

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS	DD2003-114	平成14年度文化庁芸術祭参加 放送文化基金企画選奨 入選作 品 水俣病 空白の病像	世界でも例が無い公害病と言われる水俣病。 その原因物質メチル水銀の研究が、日本は大幅に遅れている。この問題点を水俣病に携わった医学者達の証言の中から浮き彫りにした番組。(字幕制作:熊本県聴覚障害者情報提供センター)	89	C-1
VHS	DD2003-115	アートネイチャースペシャル 電 撃黒潮隊 空白 ～述懐・ハンセン病報道～	2001年ハンセン病問題は、国家賠償訴訟の勝訴、国の控訴断念と歴史の大きな転換点を迎えた。ハンセン病をめぐる長い歴史の中、記者たちはどんな思いでこの問題に向き合ってきたのか。マスコミの抱える問題も見えてくる。(字幕制作:熊本県聴覚障害者情報提供センター)	25	C-1
VHS	DD2007-001	知るを楽しむ この人この世界 アフガニスタン 命の水を求めて 第1回 アフガニスタンという国で	戦乱の地アフガニスタンに22年前医師として赴任した中村哲さんは、貧しい人々の診療活動が続けるうちに、干ばつを克服しなければ人々の平和な暮らしは取り戻せないと感じる。そして1年間に600本の井戸を掘り、20万の人々に水を供給するようになる。出演:中村哲	25	B-3
VHS	DD2007-002	知るを楽しむ この人この世界 アフガニスタン 命の水を求めて 第2回 ペシャワールへの道	ヒンズークシュ山脈の最高峰・ティリチミールに、登山隊の医師として同行した中村さんは、途中、無医村の人々の厳しい生活を目にした。1984年、パキスタンに赴任し、ペシャワールでハンセン病の治療に専念する。患者1人1人を理解し、信頼関係を深める努力を続ける中村さんの姿を描く。	25	B-3
VHS	DD2007-003	知るを楽しむ この人この世界 アフガニスタン 命の水を求めて 第3回 内戦下の診療所開設	アフガニスタンで慢性的な栄養不足と貧困、病に苦しむ人々を見て診療所の必要性を痛感した中村さんは、元ゲリラたちの協力を得て診療所を開設する。そこには戦争で傷ついた人々もやってきて、中村さんは生涯忘れられない体験をする。	25	B-3
VHS	DD2007-004	知るを楽しむ この人この世界 アフガニスタン 命の水を求めて 第4回 出会いの記憶 ～ペシャワール以前	困っている人々のために体を張る気風は、祖父から引き継がれたという中村さん。北九州市若松にある本家を訪ね思い出を語る。祖父は小説「花と龍」に描かれた玉井組組頭の玉井金五郎。また、幼いころの昆虫との出会いが、アフガニスタンでの活動につながったという。	25	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
VHS DVD	DD2007-009	知るを楽しむ 人生の歩き方 夜間中学校は 僕らのふるさと 第1回 夜間中学校との出会い	昼間の学校が終わった夕方5時に年齢も生まれた国も違うさまざまな人が通う学校・夜間中学校。生徒は皆、昼間の中学に通えなかった人たち。その夜間中学で42年間、国語の教師として夜間中学一筋に教え続けた見城慶和さんに夜間中学との出会いを伺う。出演：見城慶和	25	B-3
VHS DVD	DD2007-010	知るを楽しむ 人生の歩き方 夜間中学校は 僕らのふるさと 第2回 生きる力を支える言葉	42年間、夜間中学校の教壇に立ち続けた見城慶和さん。夜間中学に通う生徒は時代と共に変わる。高度経済成長期は、終戦直後に中学に通えなかった人たちが大人になって夜間中学に入ることが多かった。その生徒たちの生きる力を支える「言葉」について伺う。出演：見城慶和	25	B-3
VHS DVD	DD2007-011	知るを楽しむ 人生の歩き方 夜間中学校は 僕らのふるさと 第3回 不登校の君へ	1975年ごろから昼間の学校に通えない不登校の生徒が、夜間中学校に増え始めていった。心によろいを着せて、誰とも口をきかなかった生徒が、夜間中学で、みんなの前で初めて声を出して本を読むことができた。昼間の学校と夜間中学校はどこが違うのか。見城さんに夜間中学の教育力について伺う。出演：見城慶和	25	B-3
VHS DVD	DD2007-012	知るを楽しむ 人生の歩き方 夜間中学校は 僕らのふるさと 第4回 「鈍行列車」で行こう	42年間にわたる夜間中学校の教師生活で、見城慶和さんは2000人を超える卒業生を送り出した。そして、2003年3月、見城さんは定年を迎え教師生活を終えた。しかし夜間中学校を卒業しても、更に「学び」を求める人は多い。見城さんの「学び」に対する思いを伺う。出演：見城慶和	25	B-3
DVD	DD2010-005	プロフェッショナル仕事の流儀 人生によりそい、がんと闘う ～乳腺外科医 中村清吾～	乳がん治療のエキスパート中村清吾。彼の元には全国から乳がんの女性が押し寄せる。乳がん患者は40代以降の女性が多い。大半が家庭や職場で重要な役割を果たしている女性たちだ。子育てや仕事を抱えながら病氣と闘う女性たちに、心から寄り添う中村の姿を追う。	45	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DD2010-006	情熱大陸 シェフ・パティシエ 長江 桂子	フランス・パリの一ツ星レストランでシェフ・パティシエを務める長江桂子(ながえけいこ)さん。 お菓子の本場・パリでいま、最も注目を集めるパティシエだ。日本人らしい繊細さと周囲も驚く努力で、遅いスタート・女性・東洋人という3つのハンディを乗り越えた長江のデザートは2年前、有名三ツ星シェフであるミッシェル・トロワグロの目に留まり、「オテル・ド・ランカスター」でシェフ・パティシエに抜擢された。自由で斬新なアイデアが評判の店だ。 なぜ彼女のデザートはフランス人を魅了するのか…。番組では秋の新作メニューの試作から完成までを取材、長江の発想法と同僚パティシエも舌を巻く高度な技術に迫る。(番組HP参照)	25	B-3
DVD	DD2011-001	NHKアーカイブス あの人に会いたい 遠藤周作	各界で活躍する人々を迎え、その生の声を聞くインタビュー番組。今は故人となった人物の貴重な映像をお届けする。 人と宗教の関係を描いた作品を数多く描いた作家・遠藤周作。遠藤周作は、人間の生きざまを問う作品を発表する一方で、自ら狐狸庵山人と称し、ユーモアあふれる作品も多数残した。	10	B-3
	DD2011-002	NHKアーカイブス あの人に会いたい 司馬遼太郎	国民的文学といわれる『竜馬がゆく』や『坂の上の雲』の作者・司馬遼太郎。その歴史観は「司馬史観」とも呼ばれ、亡くなった今も、多くの人をひきつけている。 従軍中のエピソードや竜馬への共感、そして日本人に求める規範について、司馬遼太郎が語る。	10	B-3
	DD2011-003	NHKアーカイブス あの人に会いたい 乙羽信子	女優・乙羽信子は、半世紀にわたり映画、テレビで活躍してきた。夫の新藤兼人監督とのコンビで、40本以上の作品を残している。生い立ちから「100万ドルのえくぼ」のキャッチフレーズでのデビュー、そして演技派女優への転身のきっかけ、夫との関係まで、裏話を交えて語る。	10	B-3
DVD	DD2011-005	上陸大陸 塾講師 高濱 正伸	受験中心の学習塾界へ、全く新しいスタイルの塾を誕生させた塾講師・高濱正伸。教員資格を持っていない高濱の目指しているのは偏差値を伸ばす教育ではなく、偏差値が伸びる教育。勉強のテクニックではなく「なぜ学び、何を学ぶのか？」という勉強に取り組む“姿勢”そのものだ。	25	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DD2011-006	上陸大陸 600回記念 建築家 安藤 忠雄	安藤忠雄は現代の建築界の頂点に立つ男だ。下町に生まれ工業高校でボクシングに明け暮れていた若者が、東大出身が当たり前という建築の世界の頂点に立った。その生き方は今の若者たちを勇気づける。日々世界を飛び回り、設計の仕事に打ち込むエネルギッシュな安藤の姿を追う。	25	B-3
DVD	DD2011-009	プロフェッショナル 仕事の流儀 涙も笑いも、力になる ～院内学級教師・副島賢和～	院内学級とは、病気やけがなどが理由で学校に通えない子どもたちのための病院内施設。副島は、ここで勉強を教えると同時に、一つのことを大切にしている。子どもたちの不安や心配を 解きほぐすことだ。「子どもを下から持ちあげる」「そうっと、そばにいる」…。番組は、日々子どもに寄り添う副島(そえじま)先生を追いながら、その極意を伝える。	48	A-3
DVD	DD2012-009	新日曜美術館 シリーズ 創作の現場ドキュメント(1) 写真家・石内都 「ひろしま」との対話	鬼写真家・石内都。1979年、女性初の木村伊兵衛賞受賞、2005年にはヴェネツィア・ビエンナーレ日本代表となるなど、日本の写真界の一線を走り続けてきた女性写真家だ。昨年、石内は新たな撮影に挑んだ。テーマは「広島」。広島平和記念資料館に保管されてきた、原爆で亡くなった人の遺品など、「被爆資料」にカメラを向けたのだ。焼けこげたワンピース、引きちぎられた上着…。どの品物にも空前の惨劇の傷跡が残る。石内は、一点一点に語りかけるようにシャッターを切りながら、原爆で断ち切られた人々の「その瞬間」以前に思いをはせ、そこに刻まれた生命の痕跡を鮮やかに蘇らせていく。確かに人生を謳歌し、生きていた遺品のあるじたち。石内の写真の中で、被爆資料たちは、自らの刻印された人生を、愛を、静かに語り始める。 これは、一人の写真家の一年半に渡る「広島」との対話の記録である。(NHK番組HPより抜粋)	45	B-3

種別	分類番号	作品名	内容	時間 (分)	利用 区分
DVD	DD2013-001	プロフェッショナル 仕事の流儀 闘う介護、覚悟の現場 ～介護福祉士・和田行男～	日本全国で200万人を超えるといわれる認知症。その介護の世界に、新しい風を吹き込み続ける和田行男さん。介護の仕方によっては“普通に生きる姿”を続けられると主張。認知症のお年寄りたちが家庭的な環境のもと、少人数で共同生活を送る「グループホーム」で、先駆的な取り組みを続けてきた。和田行男さんの施設では、お年寄りたちは、自分でできることは自分でするのがルール。けがや事故のリスクも常にある。それでも和田行男さんは、お年寄り1人1人の認知症の度合いや身体能力などを見極めながら、できる限り“普通の暮らし”を維持できるよう奮闘し続ける。	48	A-3
DVD	DD2013-019	プロフェッショナル 仕事の流儀 希望のリハビリ、ともに闘い抜く リハビリ医 酒向正春	リハビリの現実とは、決してなまやさしいものではない。脳卒中による後遺症を抱えた患者の中には、せん妄やうつ病など、精神的なダメージを負ってしまうケースが少なからずあり、それがリハビリを難しくする。しかしリハビリ医の酒向(さこう)は、どんなに困難なケースでも、最後の最後まで粘り抜く。リハビリには、患者の人生を取り戻すという大切な役割があると、信じているからだ。(NHK HPより)	48	A-4
DVD	DD2024-012 DD2024-013	ナンブンノイチ 85分の1のヒトって？ 手話通訳士 ナンブンノイチ 23分の1のヒトって？ 生活拠点がいくつもある人	〇〇な人は、日本人の何人にひとり？ 数字をもとに現代をひも解く5分のドキュメント。聴覚・言語障害がある人は約34万人。一方で手話通訳士の資格を持つ人は約4千人。85人に対して1人の手話通訳士。番組では2人の手話通訳士を取り上げ、手話への思いを伺う。 〇〇な人は、日本人の何人にひとり？ 数字をもとに現代をひも解く5分のドキュメント。全国15万人を対象にした調査で、複数拠点生活を送る人は23人に1人。グラフィックデザイナーのかたわら、富士吉田で朝ごはん屋を始めた秋山さんもその1人。複数の拠点を持つって、どんな感じ？ 新しい生活のスタイルを見つめる。	5 5	B-3